

原花いらん
山口ネットワー
2023年6月の報告
420号

次の集り

2023年7月9日(日) 13:30
周南市役所 シビック交流室 6

5月31日、福島島の事故を忘れ去ったかのような悪法「GX東ねり法案」が参議院を通過して成立してしまつた。自公・維新・口民の賛成で、ドイツは福島島の事故を見て脱原発を決めたのに、当事国である日本は、

「国の責務として税金をつぎ込んで原発をすすめる。」
「電力会社には原発の60年超の運転も認める」というメチャクチャな法律を成立させてしまった。

40年の寿命と「設計された原発をそれ以上動かすことについては多くの技術者が深刻な懸念を表明しているのに、政治家や官僚はなぜそれに耳をひたひけないのか。今だけ金だけ自分だけの無責任な政治を変えよう！」

田の浦ピクニック & ビーチクリーン

7月6日(木) 11:00~
雨の場合は 13日(木) 11:00~
弁当、ぼうし、水筒、手袋を忘れないで！
熊よけの鈴も。(コメント欄にありませう)

連絡先 原真紀さん 070-5309-1032
河本文江さん 090-8063-4985

代表者 小中 進
〒742-1513 山口県熊毛郡田布施町麻御2208
Tel. FAX 0820-55-6291
振込口座 (年会費 2000円)
(郵) 01590-5-27469
口座名「原花いらん/山口ネットワー」
作製・印刷・発送 周防灘の自然を守る会
三浦 翠とメンバーズ

2023年
7月1日
小中進さん
朝の辻立5
15周年!!

放射能汚染水放流中止・日韓市民徒步行進始まる。

2017年の「上関原発を建てさせない山口大集会」の時、ソウルからバチカンまで、約800kmの「生命・脱核シルクロードの徒步行進」を呼びかけられた水原大学教授・木子元菜さんのことを憶えておられますか。

木子元菜さんは、各地で同じ思いの人々に迎えられながら、2022年8月にはアジア・ヨーロッパの26ヶ国を歩き、通されてバチカンに到着されました。

その木子元菜さんは、おすぎに大学を退学されましたが、福島原発の汚染水放出に地球村の住民として、反対の意思を、日本の国会と内閣、そして韓国政府に伝えようと、日韓市民徒步行進を計画されました。

ソウル 約800km ↓ 下関 ↓ 東京 まで
3ヶ月の予定で9月11日に東京の国会議事堂前に到着されます。

6月18日にはおすぎにソウルを出発されました。その様子がYouTubeで見れます。

「上関原発を建てさせない下関の鉄野さん」からのくわいお知らせです。 ↓ P ⑥

◎参加可能な方はぜひご参加を。

日程はネットで見れます。アドレスは鉄野さんの資料

追悼

竹林博史さんが2023年3月17日、75歳で亡くなりました。肺がんでした。余命が短く闘病されてきました。阿東町産の龍昌寺の住職で、自宅の近くに高压線の鉄塔が建つことに反対されて「電磁波について研究しこられました。」講演をあらうちでしていただきました。ありがとうございます。

印共同宣言の日本語訳の改ざんについて、環境省、エネルギー庁の回答。

先号でお伝えしました「汚染水の放出」と「除去」土壌について、共同宣言と日本語訳は「真意のよみ味」になっっています。

<p>英文：人間や環境に害を与えないことが、廃炉と福島復興に不可欠</p> <p>日本語：多核種除去システム (ALPS) 処理水の放出が、廃炉及び福島復興に不可欠</p>	<p>英文：私たちは・・・(除去土壌の再利用など) 進行中の取り組みをオープンで透明性の高い方法で進めることを奨励する。</p> <p>日本語：(除去土壌の再生利用などの) 取り組みがオープンで透明性を持って進められている</p>
--	---

このことについて放射線被ばくを学習する会の温品倅一さんと47の賛同団体は、林外務大臣、西村明宏環境大臣、西村経産大臣に、日本語訳の撤回を申し入れました。

From: 地球 連携 <Chikyu_Renkei@env.go.jp>
 Sent: Monday, June 12, 2023 12:00 PM
 To: 放射線被ばくを学習する会 <anti-hibaku@ab.auone-net.jp>
 Cc: 地球 連携 <Chikyu_Renkei@env.go.jp>
 Subject: (環境省 回答): 5.29 申し入れ書を送付します [unclassified]

放射線被ばくを学習する会 温品倅一様

2023年5月29日に放射線被ばくを学習する会、温品倅一様より受領しました申し入れの件、先般回答しているとおり、仮訳に重大な誤りはなく修正する必要はないと考えており、面談のお時間をお取りすることはいたしかねます。申し訳ありませんが、ご了承ください。

-----Original Message-----
 From: 泉井 厚志 <wakui-atsushi@meti.go.jp>
 Sent: Monday, June 12, 2023 12:32 PM
 To: 放射線被ばくを学習する会 <anti-hibaku@ab.auone-net.jp>; 原子力発電所事故収束対応室(国際班) <bzl-jikoshusoku-kokusai@meti.go.jp>
 Subject: RE: 5.29 申し入れ書を送付します

放射線被ばくを学習する会 温品倅一様

お世話になっております。
 先般回答しているとおり、仮訳に重大な誤りはなく修正する必要はないと考えており、面談のお時間をお取りすることはいたしかねます。申し訳ありませんが、ご了承ください。

資源エネルギー庁
 泉井
 @原子力発電所事故収束対応室(国際班)

中温品さんの抗議

私たちはどう改ざんされているのか具体的に指摘しているにも関わらず、あなた方は何の根拠も示さずに、「重大な誤りはなく」と言っておられます。

あなた方には話し合ひの場です。その根拠をちゃんと説明する義務があります。

経産省のウェブページでは、

https://www.meti.go.jp/earthquake/earthquake/press/20230612_01.html

「印福島首脳声明でのALPS処理水への言及」と題して、改ざんされた日本語訳がそのまま引用されています。印で認められたと虚偽宣伝しています。

改ざんされた日本語訳を撤回しないと、虚偽宣伝の蔓延一歩も、オンラインの話し合いには加じらるよう「再考して下さい」。

会として抗議のメールを送りました。皆さんからも抗議メールを送って下さい。

送附先: 環境省 地球 連携/地球環境局 国際連携課(らしい) Chikyu_Renkei@env.go.jp
 経産省 泉井厚志・原子力発電所事故収束対応室 泉井 厚志(国際担当) wakui-atsushi@meti.go.jp
 CC: anti-hibaku@ab.auone-net.jp
 よろしく願います。



6月8日、祝島漁民の会の裁判。について。
 当日のようすについては、例会の報告に詳しい。

↓P④

ここでは裁判の内容各について簡単に書きます。
 の被告・祝島漁民の会は、4月19日、「求釈明事項申し立て書」を提出。

5月25日、中電は準備書面/E提出。その中の一節で、こうウ倒の求釈明に答えている。

↓P③

次ページに書きます。

この外中電は準備書面/の中、「公有水面埋立免許は埋立工事の竣功を妨害するものを排除し、妨害行点を了了する権能を行使させている」と主張している。

これに対しては、漁業法のオケ者である能本一規さんの見解が明解です。

「原発計画が進まない大きな原因は祝島漁民の同意がないことです。」

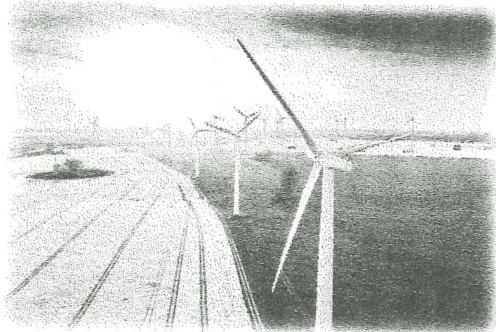
中電は2000年の補償契約で補償金を支払済みとしていますが、補償金は共同漁業権管理委員会に支払われただけで、祝島漁民は受け取っていません。

祝島漁民が補償金を受け取っていない限り、ボーリング調査も埋め立て工事も祝島漁民の自由漁業の権利を侵害する違法行為となります。

中電は、祝島の許可漁業、自由漁業は、漁業権にまだ成算としないとも言っているが、祝島の漁業は、自由漁業と許可漁業だけで、これに中電は200年には50人と、補償金を計上している。つまり、中電自身が祝島漁業権をみとめるのだ。

今こそ知りたい
エネルギー・温暖化政策Q&A(2023年版)

—政府GXによる原発回帰は、国民負担が増すだけで、
脱炭素にもエネルギー安定供給にもつながらない



149500円

email@ccnejapan.com
原子力市民委員会 → TEL, FAX 03-335 8-7064
www.ccnejapan.com

本の紹介
雨エネ・菅内電は世界ではどんく早く...

裁判のこと
祝島の島の会の裁判(オカ回)
山石国支部
オカ2023年9月21日(木) 10時30分
伊方原発運転差止の裁判(2回)
山石国支部
オカ2023年9月14日(木) 14時

いつ	なに	どこ	れんらく先
7月1日 午前 7:00~8:00	小中 達さん 朝の達さん15周年	平生町188号線 沼川の ある夫妻点	小中さん 0820-55-6291
7月2日(日) ① 10:30~ ③ 18:00~ ② 13:30~	映画「原発をとめた裁判長と 原発をとめた農夫たち」 植田さんのお話 15時15分より約1時間	KDDI 維新ホール 205会議室 前売1000円, 当日2000円	④ 090-7978-1132 植田ハミナクハード
7月6日(木) 11:00~ 雨の時は13日(月)	田の浦ヒョウニックみピーチグリーン	田の浦	090-5309-1032 原 090-9063-4785 河本
7月9日(日) 13:30~	原発いらん! 山口ネットワーク 例会	周南市役所ビル交流室6	0820-55-6291/小中
7月12日(水) 11:30~	朝鮮学校に補助金復活を! 山口県庁前座り込み. 後2"話し合い	山口県庁前広場	0836-21-8003 宇部 緑橋 教会
7月30日	映画「妖怪の孫」 ① 10:00~ ② 13:30~ 12:10~12:55 「沖縄」三上智恵カサガ 次作のアニメーション作品	柳井市、アテグ 柳井.	090-3590-8113 (柳井) 090-6484-1152 (笠田)
8月6日	映画「妖怪の孫」 ① 10:30~ ② 14:00~ 12:40~ 沖縄	新南陽・学交流カサガ	090-3746-0907 (海田)

イベント情報

求釈明事項申立書

令和5年 4月19日

山口地方裁判所岩国支部 御中

被告代理人弁護士 中 村

ほか

1 山口県知事からの要請に対する原告の回答について

原告は、本件公有水面埋立工事について、山口県知事からの、「発電所本体の着工時期の見通しがつくまでは、埋立工事を施行しないこと。」という要請に対する回答を、会社のホームページで公開しているが(乙5)、これには「回答の概要」と記載されている。

(求釈明事項)

原告が、山口県知事に行った回答の全文を明らかにされたい。

2 海上ボーリング調査について

原告は、本件海上ボーリング調査を行う目的について、「発電所敷地内の断層の活動性評価に万全を期すため」としているが(訴状2頁)、本件海上ボーリング調査を行うことについて、原子力規制委員会との間でどのようなやりとりがあったのか不明である。

(求釈明事項)

本件海上ボーリング調査を行うことについて、原子力規制委員会との間で、相談、協議を行い、指示を受けた事実はあるか。ある場合は、その年月日と具体的内容を明らかにされたい。

3 「埋立工事施工区域」に対する占有権について

原告は、「公有水面埋立の免許を受けた者は、公有水面の一定部分を占有して埋立工事を施行する権能を付与される...から、占有権に基づく保全を請求できることは明らかである。」と主張する(訴状3頁)。しかし、そもそも占有権とは、物に対する事実上の支配という状態そのものに法的保護を与える権利であるところ、原告が「埋立工事施工区域」をどのように事実上支配しているのか不明である。

(求釈明事項)

原告において、現状、「埋立工事施工区域」について、いかなる事実上の支配をしているのか、又はしていたのか、すなわち原告の占有権を基礎づける具体的な事実関係を明らかにされたい。

中電の答え

⇒ 本文の内容ほぼ一致していることから提出する必要はない。

⇒ 原子力規制委員会との間で、相談、協議を行い、指示を受けた事実はない。

⇒ 「公有水面埋立の免許を受けたものは、現に埋立工事を施行しているかどうかを問わず、埋立工事における占有権を有している。」

● 例会の報告(6月11日)

● 参加地域 田布施、光、下松、周南

① 小中代表より

ニュースを見るとまた選挙があるとか、裁判もあう行事が続いて皆さんお疲れのことと思います。

今日もしっかり議論していきたいです。

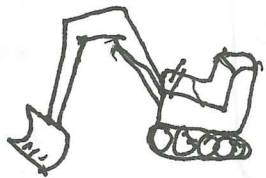
② 現地のようす

● 6月5日、赤松さんと2人で田の浦へ草刈りに行きまして。

つどの裏から海に下りる道の途中崖が崩れている。イノシシが掘ったのかも。少し通りやすいようにはしました。

太陽光発電のまわりは1/4くらいしか刈れなかったのが、赤松さんと相談して、田の浦に草刈りしました。

中電の土地の沈砂池が真中のしきりぐくずれたのひつご補修してあった。山側にはユニボが入っていた。



いのししは何度も見かけるが、能を中電の作業員が見たと言うのは本当だろうか。

県の自然保護課には登録がない。

ビーチクリーンにまわれのが都合悪くてデマを流したのではないかと疑ってしまう。中電の言うことは何も信じられん。

浜はどこもきれいになっていた。2ヶ月に一回でもビーチクリーンをやればそれだけのことはあると思った。

● 上関町の八島にエコツーリズムの団体が立ち上がったという新聞記事がある。

八島は昔は60人もいた島だが、今は12人しか住んでいない。

八島は伊予原から30km圏内に入っていて、避難計画を立てなければいけない。

山口県の八島についての避難計画書はなんと180ページもある。

避難計画は原発が建つ前に検討して無理な計画をやめるべきだ。山口県は上関原発計画の避難計画は原発が建つ前から考えると言っているが、どう考えてもまちがっている。

③ 6月8日、祝島民の会の裁判(オコエ)について

傍聴希望者93名。今回は農繁期で来れない人も多かった。

傍聴券の配布について変なことがあった。

中電の社員が一番前からワウワウ入るんでパソコンをフックしたら当選番号は1,4,8,9番とばされた。先頭から10番までには当選番号が4人もあった。

これはおかしいと聞いて、すぐに抗議したら、裁判所の職員は「ちょっと待つて下さい」と中に入ると出て来て

「もう一度やり直しますよ」と言ってくれたら今度は全くちがう教列が出た。

④

21人の傍聴券のうち中電が6人も当たるのはおかしい。裁判所と中電は談合しているのではない。

昔のようにならげうパンと玉が出るなら公平だが、パソコンによる抽選は確率論のごやめでもういい。



● 後の報告集会で。

今回漁業権の話が傍聴者の女性からはじめて出た。

「祝島の漁業を妨害しているのは中電の方です」と。

このことを漁業法の権威・熊本一規さんに話したら、次のようなコメントを貰いました。

熊本一規さんより

「原発計画が進まない大きな原因は、祝島漁民の同意がないことです。」

中電は2000年の補償契約で補償金を支払い済みとしていますが、補償は共同漁業権管理委員会に支払われただけで、祝島漁民は受取っていません。

また債権(契約)の消滅時効は10年ですから、

2000年補償契約は既に無効になつています。
祝島漁民が補償金を受取つていない限り、
ボーリング調査も埋立工事も祝島漁民の「自由
漁業の権利」を侵害する違法行為となり
ます。」

この裁判で多くの人がその事を理解してくれ
てくれたと聞いています。

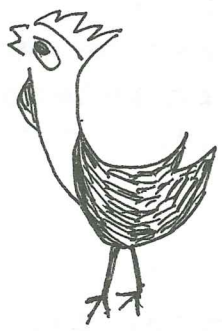


2022年10月に中電が3度目の埋立免許延長申請を
し、それを許可した理由を、山口県は

- ① 祝島の船が妨害して埋立ができなかった。
- ② 国が原発を推進している。

③ 県の3人の顧問弁護士が、延長許可すべきだと
している。
あつて物か言えないような理由だ。本当に何の
哲学も主体性もない県知事だ。

山口県は、2023年と2027年まで延長すると、2022年12月
28日に発表された。



④ 6月28日、中電の株主総会があります。10時
「脱原発へ、中電株主行動の会」(代表 清田一成)
では5議案を提案。

- 1. 原子力からの撤退
- 2. 送配電部門の所有権分離
- 3. 役員報酬の50%カット
- 4. 代表取締役社長、瀧本夏彦の解任
- 5. 監査委員4名の解任

○ 祝島から、バス一台で抗議に行かれるので私たち
も行きましょう。行かれる方は小中まで連絡下
さい。

○ 6月7日
住民訴訟の会が、県政、埋立免許延長のためにした
支出は違法であるという監査請求を行った。

・カルテルの罰金90億は誰が払うのか。
社長にねえと言えども払い切らんじやあつた。これを電気代
に上乗せされたらうかなわん。



⑤ 小中さんの朝のほ立ち15周年記念日7月1日。
88号線平生のジョイフルの角で。7時30分。
時間のある方はいつかはジョイフルで食事しましょう。

週に一回は大島大橋のもとに立っている。けっして多
くの人が手を振ったりありついで下さっている。

先日、大島の漁協の人から電話があった。中電が大島
の漁協に対して飲ませたり食わせたり、柳井に飲み
つれて行ったらしいというが……という。

工団に原発が来た時と同じような事をやっているのであ
やしい。中電は何をたくらんでいるのか。

⑥ ワタ、クロロ維新ポルで映画「原発をのた裁判官
があります。2回目の上映のあと、樋口さんの話がノ時
向くらいあります。

⑤

⑦ 次期衆議院選挙

二匹からは、平岡秀夫さんが立憲民主党公認での
出馬が決まった。
今回は政策については党は何も言わない。原発もと
はっきりと言えそいく決意。

「平岡秀夫さんをネットワークとして押しに行く。
私たちも、これまで原発について学んできたことを、や
さしくキマツナーが言葉で表現し、何人何人と1つのう
話していくようにしよう。何人的な対話がともも
大切と思う。」

⑧ 新聞記事から

6/9 中口新聞によると、中国電力管内でも、
22年にくらべ、23年には出力制御が増えている。
4月、5月はそれを19日間も。
「再エネ業者にとつては大きな打撃。
火力も70%以下に出力を下げとすのはおもしろい。
この上「原発を動かす」とどうするんだ。
さらに新設なんて全く必要ないはず。」

株主総会での質問。

企業の社会的責任について（中電株主総会のために提出した質問書）

上里 恵子

はじめに：

企業活動は営利を目的としなければなりません、一方で社会の善良なる構成員としての営為にも注力することが肝要です。

昨年、「生物多様性枠組み」(GBF)に188か国が署名したというニュースがありました。劣化した生態系を回復させることを目指し、『世界の陸と海の生態系の30%を法的に保護する』ことを目標に掲げました。

当社は上関原発の計画を持ち、上関町長島の田ノ浦湾を埋め立てることを、山口県に申請しています。田ノ浦湾は訪れた人には一目でわかる水の透明度があります。調査によって湧き水が豊富なことも解っています。最近、晴れた日この湾に2か月に1度訪れて、子どもたちが海と戯れる機会を作っています。魚が沢山泳いでいるのを目撃もしています。日本の海岸線は道路や工場立地のために埋め立てられ、自然海岸を見ることは少なくなりました。ここ、田ノ浦湾のある周防灘では、まさに、自然海岸に取り囲まれた貴重な景観を見ることが出来ます。この湾を訪れる人は皆、この湾をこのままで残したいと思うでしょう。山口県の宝物であると同時に瀬戸内海の宝物、日本の宝物でもあります。

そこで、当社に提案し、質問いたします。

1. 山口県に申請している、上関原発計画のための埋立申請を取り下げてください。
理由：湧き水を持つ田ノ浦湾の、自然循環の中で成り立つ生態系は、地球規模で考えても保全しなければなりません。取締役としてはこの考えをどう思われるでしょうか。
2. 旧原子力安全・保安院に提出した「設置許可申請書」は取下げると明言してください。

理由：埋め立地にできる原発は、自然を破壊します。（破壊の内容：以下2点）

***温排水** 7度高くなった海水を毎秒 190 m³放出すると、当社は計画しています。広島太田川の 2.4 倍の流量が、稼働している限り毎秒・毎日・年間通して流れ続けることとなります。熱破壊が積算されます。

***核分裂生成物の蓄積** 原子力発電は元素の一つであるウラン 235 の「核」を分裂させて得られるエネルギーで、高温高压の蒸気を得てタービンを回して電気を作る装置です。「核の分裂」は大変乱暴なものになりますから、陽子 92 個・中性子 143 個 (92+143=235) が分裂し、陽子・中性子の様々な数の組み合わせで、この世に無い元素の同位体を作り出します。（いわゆる核のゴミ）ここで出来るこの世に無い元素の同位体は不安定で、安定を求めて放射線を放射しないではいられません。だから、放射線量の高い想像を絶する危険物になります。原子炉ではそれを「燃料プール」で一時的に保管しています。電力会社各社・国共、溜まり続ける核のゴミに対処する策は持ち合わせていません。

未来世代に非常に重い、解決困難な宿題を残すこととなります。核のゴミは閉じ込め続けなければなりません。閉じ込めに失敗することが原発事故です。

原発事故は、故郷の破壊、いのちの破壊、心の破壊、修復不能な破壊をもたらします。

当社としては、このように危険な製造物は造らず、今ある周防灘の自然を未来に残すという賢明な道を選びたいと思います。この選択についての取締役の考えをお聞きたいします。 以上

放射能汚染水放流中止・日韓市民徒步行進始まる

福島原発の汚染水放出に地球村の住民としての反対意思を日本の国会と内閣そして韓国政府にも伝えようと日韓市民徒步行進がもうすぐ始まります。

2017年5月から2022年8月までソウルからローマ・パチカンを26か国約8200kmを生命・脱核シルクロードの徒歩巡礼を実行した李元栄氏（前水原大学教授）がこの度、6月18日にソウルを出発して釜山まで約500kmを徒步行進し、船で下関に渡り、そこから東京までの約1100kmを徒步行進し、9月11日に東京の国会議事堂までの約3か月間の日韓市民徒步行進を計画しています。参加可能の方はぜひご参加されますようお知らせします。拡散歓迎です。

<https://cafe.daum.net/earthlifesilkroad/KUxW/2>

その目的は次のとおりです。

「放射能汚染水（処理水）放流防止 日韓市民徒步行進」この行動の呼びかけ文は次の通り。

福島原発汚染水は123年間保管すれば放射能を1/1000に減らすことが出来ます。133万トン基準でタンクをつくる費用が330億円、はした金です。

たとえそれよりはるかに多くかかるとしても社会費用に比べればごく少ないものです。

原発汚染水は食物連鎖で重複され濃縮されます。植物性プランクトンは三重水素放射能が20万倍に濃縮されるといいます。これが魚を通じて私たちの口に入って来て内部被曝を起せば回復は不可能です。

さらにALPSという装置でも取り除けない核種がかなりあることが明らかになりました。

汚染水（処理水）を故意に捨てるのは次元が異なります。自暴自棄に近いです。

国民が直接意思決定しなければなりません。韓国、日本の市民たちがともに防がねばなりません。1600kmを歩きながら、その意思を書簡文集に込めて日本の国会と内閣、そして韓国政府にも伝えようと思います。

参加の問合せ先は：010-4234-2134 または leewysu@gmail.com

後援は010-8971-0692 ホームページ <https://cafe.daum.net/earthlifesilkroad/KUxW/2>

なお、李元栄教授のソウル～ローマを徒歩巡礼した生命脱核シルクロードの旅日記の翻訳をニコリ会・下関のブログで行いました。 <https://ameblo.jp/sksalau-emxy-127a4999902.html>

서울에서 도쿄까지 From Seoul To Tokyo ソウルから東京まで
방사능오염수 방류중지 한일시민 도보행진
放射能汚染水(処理水)放流中止 日韓市民徒步行進
Korean and Japanese Citizens Walking March
to Prevent Dumping of Radioactive Water

From Seoul To Busan 500km + From Shimonséki To Tokyo 1100km
2023 Jun18-Jul15 2023 Jul16-Sept11
2023년 6월18일~7월15일 2023년 7월16일~9월11일

후쿠시마 원전 오염수는 123년간 보관하면 방사능을 1/1000으로 줄일 수 있습니다. 133만톤 기준으로 탱크 만드는 비용이 330억엔. 문준입니다. 삽사그르다 출신입니다. 돈다 할들 사원비용에 비하면 조롱거리입니다. 방사능은 먹이사슬로 증폭되어 동물이 됩니다. 식물성 플랑크톤은 삼중수소 방사능이 20만배로 농축된다고 합니다. 이것이 생물을 통해 우리 몸에 들어와 내부피폭을 일으키면 회복이 불가능합니다. 게다가 ALPS라는 장치로도 못잡는 핵종이 상당하다는 것이 밝혀졌습니다. 오염수(처리수)를 고의로 버리는 것은 악령의 차원이 아닙니다. 자포자기에 가겠습니다.

국민이 직접 의사결정해야 합니다. 한국 일본의 시민들이 함께 가야 합니다. 1600km를 걸으면서 그곳을 서간문집에 담아 일본국회의 내각 그리고 한국정부에도 전달코자 합니다.

문의문의 010-4234-2134 leewysu@gmail.com
후원 후원 후원 후원 후원 후원 후원
후원문의 010-8971-0692 이성을 서문문장
Home Page <https://cafe.daum.net/earthlifesilkroad/KUxW/2>



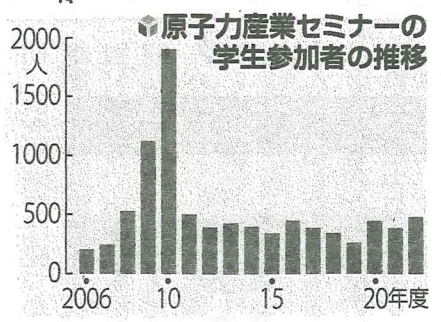
関連する新聞記事

- ・(5/25朝日) 実験炉「常陽」新基準適合。常陽は冷却材にナトリウムを使う高速炉。もんじゅの失敗に比べ、あらかじ
- ・(5/25朝日) 福島第一、原子炉台座の損傷漏れ対策「検討を」規制委、東電に指示。
- ・(5/26日経) 韓国「AEA」評価で判断「福島処理水放出、世論説得の材料に。」
- ・(5/26よみうり) 処理水放出、政権苦慮 韓国世論批判根強く。
- ・(5/26日経) 世界のクリーンエネルギー投資、前年比7%増の24兆円。中国、米欧けん引。
- ・(5/27中口) 小じん核燃料搬出遅れ、フランスの輸送装置に不備。
- ・(5/27中口) 川内原発延長「高止」と評価。県の専門委員が知事に提出。
- ・(5/28中口) 電力余剰時火力抑制へ、経産省が方針。再エネ停止を回避。
- ・(5/28よみうり) ミス、原発活用に水。安全審査書類、人材不足指摘の声。
- ・(5/28よみうり) 学生、大学「原子力離れ」。

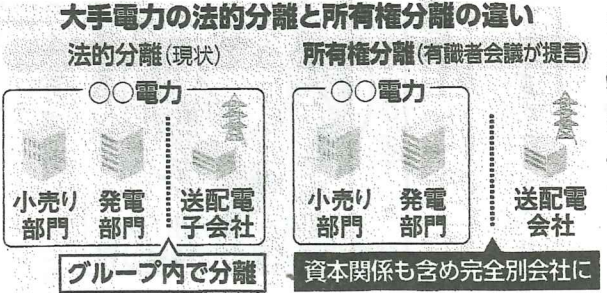
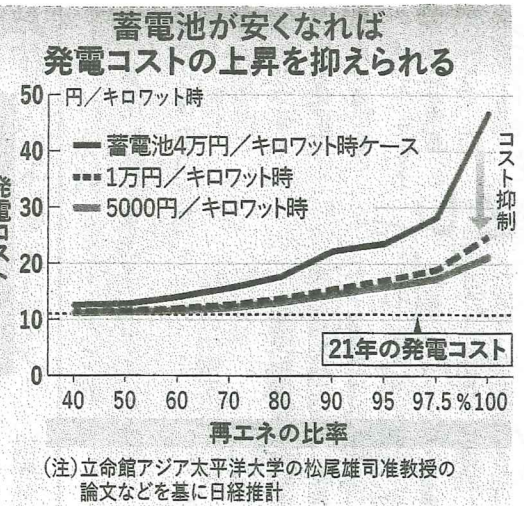
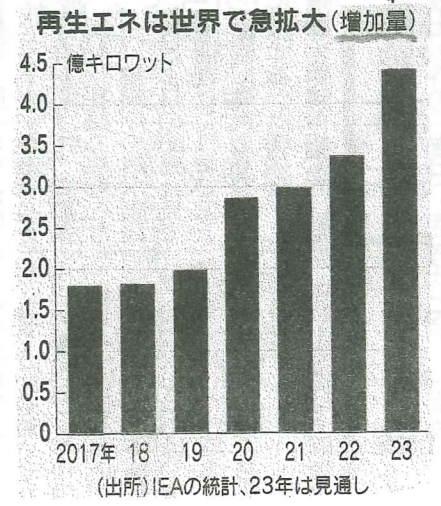
原発・原子力施設	主な内容
電源開発大間原発(青森県)	地震動の計算で、委託業者が「キロメートル」と「メートル」の単位を取り違えて計算。原子力規制委員会の審査が事実上ストップ
日本原子力発電敦賀原発(福井県)	2号機の活断層に関する審査書類で約1300か所のデータの取り違えなどが見つかる。規制委が4月に審査を中断、原電に対し8月末までに書類の出直しを求める行政指導
日本原燃使用済み核燃料再処理工場(青森県)	審査書類約6万枚のうち約3100枚に記載漏れやページの落丁。規制委が4月に経営陣を呼び出し再発防止を要請
北海道電力泊原発(北海道)	規制委への説明がスケジュール通り行えないことなどが続き、審査の申請から約10年が経過

原発や原子力施設を巡る電力会社の不手際

- ・(5/28中口) COP30アマンゴ。25年初のブラジル開催。
- ・(5/30日経) 火力30%以下に出力抑制。再エネ電力余剰時に。
- ・(5/30日経) 電力4社株主、経営陣の提訴要求。
- ・(5/31日経) 自治体新電力向け保険、横保ジャパン。
- ・(5/31日経) モルデブ・シビド外相、気候変動「今更に行動を。国土の8割が海抜1m以下にある。」
- ・(5/31日経) 7月電気代ワ下り。燃料費下落で。
- ・(5/31中口) 原発60年超、きょう成立。Gメタ法案、参院通過。子爵、日本維新、国民の賛成で。
- ・(5/31朝日) 電気料金5%、210円負担増。大手ワ社6月から。
- ・(6/1朝日) 東電、原発事故の賠償書類誤り送付。



- ・(6/1日経) 中部電系、家庭向けに30億円還元。
- ・(6/1朝日) 海洋放出。住民公聴会はガス抜き。車内家「議論は委員で」。
- ・(6/2日経) グリーン水素、コスト減へ。
- ・(6/2日経) 米新興CFB核融合で先陣。小型炉25年に稼働へ。
- ・(6/2日経) 再エネ電源、世界で5割規模へ。発電能力化石燃料に匹敵。日本の出遅れ鮮明に。
- ・(6/2朝日) 高浜再稼働「未定」に大穴。防護対策のための。
- ・(6/2よみうり) 春の平均気温1.9度上昇。25年ぶり最取高。
- ・(6/2日経) 新電力各社も6月匯エジ。燃料高が直撃。
- ・(6/3中口) IAEAの総括検証終了。処理水の海洋放出について、6月中旬に包括報告書を提出。
- ・(6/3朝日) スリーマイル住民に「声」与えた78回の公聴。当時のアーヴィン・モリス市長は「住民の疑問に答える議論を重ねることが大切だ。対話なしに政策を決めることは住民の怒りを買った。」
- ・(6/4日経) 周電、初の出力制御。太陽光、風力の一部。
- ・(6/4中口) 処理水放出「生活脅かす」。オンラインでマリアナ諸島の地方議員ら。
- ・(6/4朝日) 相次ぐ電力不祥事。実例統括「電事運正今心場、大手3社以外初の会長・九電元副会長」。
- ・(6/5日経) 貼る太陽光発電電。新権子い。日本技術、量産は中口先行。原発も長方。「国産化」急ぐ。
- ・(6/6日経) 炭炭系実現 蓄電池が左右。
- ・(6/6日経) 再生エネ出力制御、毎日最大10%削減電力。
- ・(6/6中口) 中川備後訴訟で原告側提訴。
- ・(6/6中口) 福島第一港湾で高濃度セシウム。70トンから国の基準値(1kg)まで100倍。
- ・(6/6中口) 福島第一1号炉、原子炉台座損傷「リスクは高い」。東電が評価公表。
- ・(6/6日経) 浮体式洋上風力に新風。建設費用、半分程度に。
- ・(6/6よみうり) 対馬夜叉丸場巡り賛否両論8件。



〔新聞記事の続きです〕

- ・(6/6日経)「生エミシ燃」3割増やす。三菱重工、パイオニア発電向け。混入コラ分利用機開発。
- ・(6/6朝日)エネ庁、規制ナ庁との秘密面談資料に記載。「安全規制、緩んだ」と見えぬよう「原発60年超法で」。
- ・(6/7日経)電気代3年ごとの割上昇。エネルギー白書。ウクライナ侵攻で相乗。イリリアは3倍。
- ・(6/7中口)北極海の氷30年、代消失も。ロ際チーム発表。
- ・(6/7日経)東南アジア、再生航空燃料活用。原料は廃食油。ハブ空港で需要。
- ・(6/7中口)送配電「完全分離」検討。政府、規制改革実施計画案に明記。23年度中のご結論。改訂本関係切り離し。
- ・(6/7中口)情報共有。解消26年度に。電力不正関らぬ。中電へも、賢視委に報告。
- ・(6/8中口)卸電力価格5ヶ月ぶり。多気落。燃料値下り。コスト減に。
- ・(6/8中口)原発60年超。運転。自民の不安残った。また。(社説)
- ・(6/8日経)電力カルテル。株主が提訴。要求。中口。九州中部電力。
- ・(6/8日経)大阪ガスと伊藤中心。システム。送配電に参入。再エネ出力制御を抑制。
- ・(6/9日経)「暖房法案」独政権に。安全。新設なら再エネ65%。義務化。負担増に反発。文持。下。取。置。に。
- ・(6/10中口)泊「原発の緊急地震動」承認。安全対策工事の設計ミス。
- ・(6/9中口)「電源ケーブル」誤って配線。柏崎刈羽7号。水産品「輸送」。
- ・(6/10日経)新設炉中口製7割。
- ・(6/9日経)処理水「非科学的な活動は排撃」。産電「ロ民」の金起。核(キムダヒョウ)代表。
- ・(6/9中口)「電源ケーブル」誤って配線。柏崎刈羽7号。安全対策工事の設計ミス。
- ・(6/10日経)「原発処理水」放出。香港「福島の水産品」輸送。
- ・(6/10日経)東電管内の節電呼びかけ。政府7.8月。
- ・(6/11中口)漁業者改めて放出反対。原発処理水。産相。宮城。福島。茨城の3県を訪問。
- ・(6/13中口)高浜原発MOX。仏で再処理研究。20年代後半に輸送。
- ・(6/14日経)「香港」福島産など禁輸「福島オ」処理水放出。なり。
- ・(6/14日経)パネルの再資源化保証。親見ソーラー太陽光向け販売。
- ・(6/14日経)経産省。CO2地下貯留。ワキ。東。選。定。火力発電を統。り。る。た。め。に。
- ・(6/15日経)ドイツ全原発の稼働終了。
- ・(6/15日経)NEED。超臨界地熱発電。来年度にも本格開発。地熱より深い地下3.5km程度に存在するエネを「1」を生。か。す。



- ・(6/15中口)火山観測推進本部新設。
- ・(6/16中口)処理水懸念。韓口で塩漬勝。
- ・(6/16日経)「藻類」から燃料CO2。実質ゼロ。
- ・(6/16日経)再生航空燃料。基準厳しく。7閣僚。宣言。炭素。脱。炭。素。を。加。速。
- ・(6/17日経)「福島核処分場」特別。委。市。議。会。文。献。調。査。請。願。書。を。東。電。不。直。7月5日以後に東電。監。査。心。配。規。制。改。善。実。施。計。画。
- ・(6/17中口)先進国と途上国排出。減。温。深。く。温。室。効果。ガ。ス。気。候。変。動。会。合。因。会。
- ・(6/17日経)東電。再エネに「非月」。洋上風力国内外で開発。
- ・(6/18中口)福島オ。格納容器の底部堆積物。た。ん。か。わ。
- ・(6/19日経)太陽光パネル。設置。場。所。の。安全。対策。は。た。か。か。
- ・(6/19日経)「福島第1原発」格納容器の底部堆積物。た。ん。か。わ。の。状況。電。の。建設。中。止。資。材。の。高。騰。で。
- ・(6/20中口)中電。周。電。な。ど。に。改善。命令。電力カルテル。産。電。者。の。取引。監視。等。を。要。求。
- ・(6/20中口)「放出以外」の方法検討を「福島オ」。処理水。産。相。に。要。求。相。次。ぐ。北。海。道。漁。連。や。宮。城。知。事。
- ・(6/20日経)韓国。放射。性。検査。を。拡。充。福島。処理。水。巡。り。近。海。海。産。物。対。象。に。
- ・(6/20日経)「公海」の生物保護。ロ。際。協。定。を。採。択。国。連。で。

「放出以外の方法検討を」

福島第1処理水経産相に要望相次ぐ

6/20日 北海道漁連や宮城知事

政府と東京電力が夏ごろの開始を目指す福島第1原発の処理水海洋放出を巡り、北海道漁業協同組合連合会の阿部国雄会長が19日、経済産業省で西村康稔産相と会談し「漁業者、国民の理解が得られない中で、放出は絶対に行わない」と訴える要請書を手渡した。

要請書では処理水の保管を継続し、海洋放出以外の方法の検討を求めた。阿部会長は、放出に強く反対する中国や韓国にホタテなどの水産物を多く輸出している

と強調。「風評被害が発生しないよう北海道産の水産物の安全性を国内外に周知してほしい」と訴えた。西村氏は、廃炉には処理水放出が避けられないとし「安全性、風評対策に万全を期す。北海道は水産の代名詞で、不安を払拭し(漁業を)継続していただけるよう全力で取り組む」と応じた。

宮城県は、村井嘉浩知事も同日、西村氏と会い「海洋放出以外の処分方法を継続して検討してほしい」と要望。福島県は、双葉地方町村会(会長・篠木弘重尾村長)は「復興の妨げとなる新たな風評を絶対発生させない決意で対策を講じる」との要請書を経産相に提出した。

地域の新聞記事

- ・(5/27中口)不祥事再発防止。中電が部署新設。
- ・(5/28日経)中国電経営陣の提訴請求。株主ら。
- ・(5/31中口)中電の現制料金。国認可で6月から値上げ。燃料費7割は値下がり。
- ・(5/31日経)広島大。70棟に太陽光。PPA初期費用はしど太陽光パネルを設置。
- ・(6/1日経)今夏電力見通。安全供給を確保。中国電系。
- ・(6/1中口)平岡民が立候補を表明。次期衆院選出馬。立民公認。
- ・(6/2各紙)中電は、2023年4月27日の取締役会において今後カルテル行為は行わないと決議。1丁の文書と掲載。
- ・(6/2中口)次期衆院選も野党共闘。中電連合。各党県組織と会合。
- ・(6/2中口)島根原発2号機「再稼働。知事同意(今夏)工事着手。住民賛否今も。遊「難計画向われる実効性。
- ・(6/3中口)電力「最終保障」急減。中口地方。新現契約の再開受け。
- ・(6/3朝日)周南コンビアートの脱炭素化へ権限発表。脱石炭火力発電。原料を石油から転換。
- ・(6/4中口)広島に活気。出身者が団体。エコリウムで移住者募集。上岡住民に協力要請。
- ・(6/7中口)上岡原発埋め立て見許。県が許可。延長は違法。経費返還を。市民団体が監査委員請求。
- ・(6/8日経)中口経済連合会。会長が統収決定。中国電経水。カルテル追及も。
- ・(6/8日経)取締役役員の提訴請求。中国電株主。監査委員等。
- ・(6/8中口)安来。雲南の風力発電計画。松江の跳のに影響。市審議会答申。市長意見認め。
- ・(6/9中口)出力制御頻発に。再エネ事業者困窮。増える太陽光発電量。電気代高く。節電は加速。需給しわ寄せ。事業者投資弱まる懸念。
- ・(6/9日経)山口。周南で全国に先駆け。コンビナート脱炭素化始動。石炭の一部アモニア。
- ・(6/14日経)徳島県南部に洋上風力発電計画。浮体式253基。
- ・(6/14中口)美和のメガソーラー稼働。若口市。事業者と協定。適正運営求める。
- ・(6/14中口)今夏の電力「安定供給」。中口地方の予備率18%。
- ・(6/16中口)中電再発防止と報告。不正腐らん。社長。監視本と面談。
- ・(6/17中口)若口の赤兵衛有罪判決。車道水飲。海産物「県産品」競争。若口地域。執行猶予4年。并償なし。地位協定。課題色濃く。
- ・(6/18よみうり)アワラゴ保護。清掃。周防大島。高校生ら。



中国地方の出力制御の実施状況

	2022年		23年	
	日数	1日の最大制御量(万稼)	日数	1日の最大制御量(万稼)
3月	0	0	8	20~193
4月	2	47~49	18	42~347
5月	5	18~55	18	35~254

延長は違法 経費返還を

市民団体が監査請求



県庁で記者会見する小畑事務局長(左)とたち

中国電力の上関町での原発建設計画を巡り、予定地の海の埋め立て免許の延長を県が許可したことは違法として、建設に反対する市民団体の33人が6日、許可に関連した経費を村岡副政知事に返還させるよう求めた。

市民団体の小畑太事務局長は「県の許可は矛盾をきたしている」と批判した。村岡知事はこの日の記者会見で「許可そのものについては公有水面埋立法に基準があり、土地需要があれば都道府県知事は許可しなければならない」と述べた。

(渡辺裕明)

808億円損害賠償 役員提訴を請求

中電カルテルで株主



送付した書面について説明する胡田弁護士(左)と木原さん

大手電力が事業者向けの電力販売でカルテルを結んでいた問題で、中国電力の株主20人が7日、熊本夏彦社長ら当時の役員に対し約808億円の損害賠償を請求する訴えを起すよう求める書面を同社の監査委員に送付した。書面が6日以内に提訴しない場合、会社法に基づき株主代表訴訟を起すとしている。

役員は公正取引委員会がカルテルを結んでいたと認定した2018年11月〜2020年10月に取締役だった22人。この期間に副社長などを務めた熊本社長のほか、社長だった清水希茂会長も含まれている。

株主20人は書面で、役員にはカルテルへの関与が、

同様の書面を同日宛てに各社に送付し、中電の株主(監査委員、秋吉正哉)

2306 目からウロコ「原発」

「避難者を無視している」「政府は真正面から答えない」 原発「60年超運転」法の成立！

2023年5月31日

「GX 脱炭素電源法案」が危 ういと言われる3つの理由

サステナブルビジネスマガジン

2023年4月2日(抜粋)

衆議院経済産業委員会は4月26日、原発の運転期間を実質「60年起」とすることなどを盛り込んだGX脱炭素電源法案を賛成多数で可決した。原子力基本法を改正し、「国の責務」として原子力産業を支援することを明記した。法案について専門家は「安全神話をもとに作られており、その費用は将来世代にも影響が及ぶ」と話す。主な問題点を3つまとめた。(オルタナS編集長=池田 真隆)

「改正案では、事故が起きた後の責任の明確化を遂げており、安全対策すれば事故が起きないという安全神話をもとに作られた傾向がある。原発の『永続化』でもあるGX脱炭素電源法案は廃案にすべきだ」。原子力政策に詳しい龍谷大学政策学部の大島堅一教授は、政府が成立を目指すGX脱炭素電源法案に対して、こう批判した。

「GX脱炭素電源法案」は、原子力基本法、原子炉等規制法、電気事業法、再処理法、再エネ特措法の5つの改正案をまとめた「東電法案」だ。5つある法案のうち、再エネ特措法以外の4つは原子力政策に関わる。十分な国民的議論を欠いたまま進む同法案の問題点を整理した。

問題点1: 「抜本的な改革」が実施されても、国が原子力産業を手厚く支援

原子力政策の基本方針を示した原子力基本法(1955年制定)は、原子力利用に関する「憲法」だ。同法案では、原子力基本法を改正し、「国の責務」を新設しようとしている。

国の責務として、「立地地域住民への理解促進」「地域振興」「人材育成」「産業基盤の維持」「研究開発の推進」「事業環境整備」——を国が支援していくこ

とを明記した。

さらに、原子力を安全に利用していくための国の方針として下記の文章を新たに盛り込む。

「電気事業に係る制度の抜本的な改革が実施された状況においても、原子力事業者が原子力施設の安全性を確保するために必要な投資を行うこと、その他の安定的にその事業を行うことができる事業環境を整備するための施策」(第二条の三-三)「抜本的な改革」が実施されても、国が原子力産業を手厚く支援していくことを強調した。

大島教授は、「原発は建設すると処理費を含めて国が支援する。廃炉費用を含めるとその費用は天文学的な金額になり、そのツケは将来世代にも及ぶ」と話す。

問題点2: 原発の運転期間延長を認める法律の所管を、規制側から経産省へ

原発の運転期間については、福島事故後の2012年に原子力規制庁が所管する「原子炉等規制法」で「原則40年、最長60年」と定めていた。政府はこの原子炉等規制法を改正し、運転期間を原則40年と定め

た規定を削除する。その上で、運転期間の規定については、経産省が所管する「電気事業法」に移す。こうすることで原発を推進する立場の経産大臣の認可で原発の運転期間の延長を決めることができるようになる。

大島教授は、「規制の虞(とりこ)を生み出す」と指摘した。規制の虞とは、規制側が規制される側に支配される状況を指す。

福島第一原発事故の検証を行った国会の事故調査委員会は、事故が起きた根本的原因として、「監視・監督側の機能が正常に働いていなかった」と報告書でまとめた。自然災害ではなく、「規制の虞」に大きな原因があるとしたのだ。

大島教授は、今回の改正案で、新たな規制の虞を生み出すとし、「第二の福島事故が起きる可能性もある」と話す

問題点3: 憲法76条「裁判官の独立」すら侵して運転延長へ

電気事業法の改正案では、原発の運転期間(原則40年)について、次の理由によって原発を停止した場合、運転期間から除外できるようにした。運転を停止しても劣化していくが、こうすることで実質60年超の運転が経産大臣の認可でできるようになる。大島教授は、「運転期間が60年を超える原発は現時点で世界にはない」と話す。

「裁判所による仮処分命令」で停止した期間を運転期間から除外することについて、大島教授は、「日本国憲法第76条で定めた『裁判官の独立』を侵している」と指摘する。「裁判所が下した判断に行政が勝手に『必要なかった』とは言えない」。

運転技術継承は困難だ

原発技術者: 小倉志郎

2017年3月17日衆議院環境委員会で、「原発は全体が分からない人間が集まって運転している非常に危ういものです」と題して陳述をする。

東電福島原発事故発生から10年、東電は自社の原発を1基も運転していない。この10年の間に相当数のベテラン運転員が定年退職や自主退職などでいなくなり、今後、仮に再稼働が手続的に許される状況になったとしても、必要十分な熟練度の運転員が確保できるか、はなはだ疑問である。

原発の運転は通常、当直長をトップとする10人前後の班が5組で、24時間を2~3交代で行う。運転員は運転手順書を理解していることはもちろん、原発のシステム・機器に関する知識を持ち、かつ、そのシステム・機器の現場の配置を覚えなければならない。

そのためには、システム・機器の機器配置図、取扱説明書、配管・計装線図、配管図、ケーブル敷設図を読み解き、かつ、現場におけるその位置を確認し、図面を見なくても、その場所にたどりつける記憶と感覚を身に付けねばならない。

分野としては、機械・電気・計装・制御など多岐にわたっている。また、動的機器については、通常運転

における機器の状態は現場において、音響・振動・軸受け温度・異音・異臭・漏洩などを視覚・聴覚・嗅覚・触覚などの感覚を駆使する必要がある。

例えば、非常用ディーゼル発電機の試運転時や制御棒駆動水ポンプなどの通常運転時の騒音は100フォンを超えている。そのような現場のパトロールを繰り返すことによって、正常な運転状態がどんなものかを身体で覚えることができる。

したがって、新人が熟練した運転員になるには、ベテラン指導員の指導の下で10年くらいはかかると思われる。上記のような熟練度はペーパーテストなどでの点数などで測ることはできない。さらに、故障や事故が起きた時の対応は、よほど簡単なもの以外は運転手順書にも書いてないから、その都度、試行錯誤的な対応が必要である。つまり、知識と経験にもとづく応用動作をしなければならない。

一方、東電は「人員は確保できている」「訓練はBWRトレーニングセンター(@柏崎)のシミュレーターを使って行っている」と言う。シミュレーターは模擬制御室とコンピューターの組み合わせであって、システムや機器などのある現場は無い。スイッチを操作すれば、システムや機器が動作したというランプが点灯するだけで、操作の順序を覚えることはできるが、システムや機器の動作が正常か異常かの判断の訓練はできない。

まして、重大事故などの複雑な現象については、事故のプロセスが複雑すぎて、すべてのプロセスを模擬することなどでできず、事故対応はまさに運転員の应用能力に頼る他ない。

安全性強化のためのどんな設備が追加されても、必要十分な能力を持った運転員が必要十分な人数そろっていないければ原発の再稼働は無理だ。東電の幹部が現状を素直に観れば再稼働など怖くてとてもできないだろう。(初出:「科学」誌2021年3月号・コラム)

以上は2年前のコラムだが、状況は全く変わっていない、というより、さらに劣化が進んでいる。為政者や事業者に一片の良識があれば、再稼働などあり得ない暴挙である。

(注: アンダーラインはちらし作成者挿入)

2023年6月3日作成 「アヒンサー」
(目からウロコ FC2 アヒンサー)

「アヒンサー」は、サンスクリット語で、「殺されたくない、殺したくない」という意味です。